

モリアオガエルのくらし



5月中旬頃に山から、森の中の池にやってきます。



6月中旬頃にペアが決まると木の枝に登り、産卵場所をさがします。



産卵中。オスがメスを後ろから抱いて卵を押し出すのを手伝います。2~3時間かかります。

モリアオガエルの一生



8月上旬に両足がそろい、陸に上がります。約2~3年かけて森の中で育ち大人になります。



卵は2週間かけてオタマジャクシになると、下の池に落ち、そこで暮らします。



あわの中には300個~500個の卵があり、温度や湿度を一定に保ちます。

モリアオガエル

兵庫県絶滅危惧種Bランクに指定。

いつもは水辺から離れた森の木の上で暮らしています

夜行性

大きさはオスは5~7cm、メスは8~10cmぐらいです。

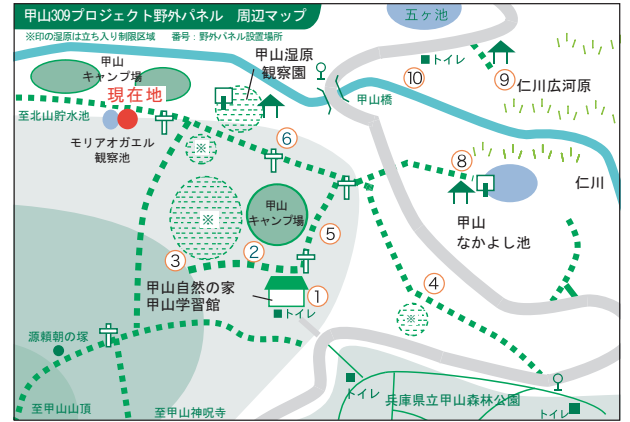
いつもは緑色で周りの環境によって変わります。

吸盤の力はとても強く、森の中でも自由に移動できます。

森の中には危険がいっぱい

オタマジャクシの時は水生昆虫などに、カエルになっても、ヘビや鳥に狙われます。生き残るのは大変です。約500個の卵の内、生き残るのは2~3匹だそうです。

ヤマカガシに襲われるモリアオガエル



寄贈：近藤光史
 (MBSラジオ「こんちわコンちゃんお屋ですよ!」パーソナリティー)
 NPO法人こども環境活動支援協会
 この野解説板のデザインは平成21年度ライフ&ネピア環境助成事業
 (株式会社ライフコーポレーション・王子ネピア株式会社)により作成しました。